

町の生活情報紙
— IIDE PUBLIC RELATIONS —

広報いいで

11

12, November
2009
Vol.992

紅葉に
つままれて…

Contents

立ち上がる飯豊町の自主防災活動

特集◎災害に強い町を目指して

就任の決意を語る

後藤博信副町長インタビュー

宇津峠を歩こう会

日本風景街道 宇津峠を歩く

- 03 特集 災害に強い町を目指して
～立ち上がる飯豊町の自主防災活動～
- 09 インタビュー 後藤博信副町長就任
- 10 秋の催しをカメラが追う
いいで秋の収穫祭／各地区文化祭
- 12 まちかどNEWS
「共存の森・全国セミナー」活動報告会／中部地区で防犯活動を強化／添川児童センター里芋堀り体験ほか
- 14 直伝おふくろの味
- 15 子育てファイル／あ～す図書室情報
- 16 リレーエッセー校長室便り／随想町長の見て歩き
- 17 美しい日本の村、未来へ継承の契り
「日本で最も美しい村」連合／全国散居村サミット
- 18 追悼 元町長渡部孝吉さん死去／がんばりの軌跡
- 19 町税「滞納の整理」について
- 20 お知らせ／戸籍の窓／人の動き／編集後記
- 22 日本風景街道 宇津峠を歩く
- 24 未来につなぐ～いいでの美しさをいつまでも～

町のホームページから

さらに情報を！

町からのお知らせや情報は、
飯豊町ホームページ www.town.iide.yamagata.jp
でも紹介しています。
知りたい情報は、「検索キーワード」を、ホームページの
検索ボックスに打ち込んでください。当該ページへ簡単に
移動することができます。

こちらのボックスに
「検索キーワード」を
打ち込んでください。



the most beautiful
villages
in japan

飯豊町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。
これからも美しい景観と里山文化に磨きをかけていきます。

表紙

今月の親子

手ノ子在住

- 田辺友和さん(32歳)
- 由紀さん(32歳)
- 理紗ちゃん(8歳)
- 愛莉ちゃん(5歳)
- 瀬里加ちゃん(2歳)



左から友和さん、瀬里加ちゃん、
由紀さん、理紗ちゃん、愛莉
ちゃん
(撮影場所／手ノ子地区落合地藏尊)

お父さんもお母さんも理
容師という田辺さん親子。
仕事柄休日は限られていま
す。子どもたちから「友達
はみんなお出かけしている
よ」と言われて不憫に思う
ことも。でも理紗ちゃん、愛
莉ちゃんの夢は床屋さんに
なること。親の仕事をしつ
かり理解しています。瀬里
加ちゃんは？「…(検討中)」。

特集

災害に強い町を目指して

—立ち上がる飯豊町の自主防災活動—

自然災害の少ない土地柄 「油断」が最大の弱点

置賜地方は自然災害が比較的少ない地域と言われている。
 災害が少ないのは幸せなことである反面、
 「うちは大丈夫だ」という油断につながっていないだろうか？
 本町の直下には長井盆地西縁断層帯があり、
 昭和42年には羽越水害を経験している。
 自主防災は、防災意識を高め、訓練を重ねることで
 災害発生時に最大の力を発揮する。
 町の自主防災活動の現状などを取材した。



写真/2007年3月25日に発生した能登半島地震による被害の様子(山形県総務部危機管理室防災課提供)

町の直下に横たわる

長井盆地西縁断層帯

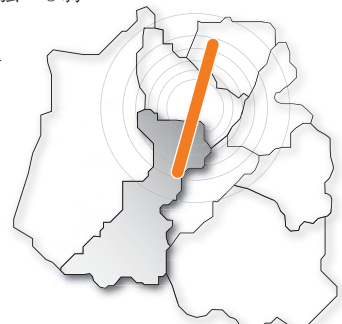
DATE

長井盆地の西側に沿って南北に伸びる断層帯。その長さは、実に朝日町から米沢市までの約51kmにおよび、ひとたび地震が発生すれば、ほぼ置賜全域で被害を受けることになる。救助や救援物資が全町民に到達するには、相当な時間を要することが予測されている。

- ◆震度分布/断層周辺震度7、そのほかの居住地域6強～6弱
- ◆今後30年以内の発生確率/0.02%以下
※2007年の能登半島地震は、0.1%未満の予測で発生
- ◆想定される被害

建物 総数	夏 季		冬 季	
	全壊棟数	半壊棟数	全壊棟数	半壊棟数
5,030	734	1,117	834	1,269

昼間 人口	夜間 人口	夏季昼間(13時)		冬季早朝(6時)	
		死者	負傷者	死者	負傷者
8,120	9,204	17	307	50	631



資料/平成18年3月山形県「山形県地震被害想定調査～長井盆地西縁断層帯及び庄内平野東縁断層帯～調査報告書」 ※建物総数は平成17年1月現在、人口は平成12年度国勢調査による

防災意識と訓練が 災害時に力を発揮

いつ起こるかわからない自然災害。対策は「備え」以外にない。総合防災訓練の様子と町内の自主防災組織の結成現状を報告

地域住民総参加の訓練を実施

十月十八日、第一小グラウンドを主会場に町総合防災訓練が実施された。訓練は、長井盆地西縁断層帯を震源にした直下型大地震の発生を想定。中・萩生・黒沢地区住民をはじめ、町消防団、西置陽行政事務組合消防署員、関係機関職員など約四百名が訓練に臨んだ。訓練の重点は、①初動態勢②避難誘導体制③避難所設置運営能力④地域住民参加の主体的防災活動の四点を強化すること。

部落長が先頭となって指定避難所(第一小体育館)へ地区住民ごと避難する「避難活動訓練」を皮

町の自主防災組織の現状

切りに、十四種の訓練(左表)を行い、町の防災体制などを確認した。

今回の訓練の特徴として、自主防災組織が、例年よりも多い四団体参加していた。ただし、これは中部地区に限ったものではなく、平成十九年ごろから町内全域で自主防災組織の結成が増えたことが理由として考えられる。

自主防災組織の大きな目的は、災害時において行政などの公的な救援だけに頼らず、自分たちで迅速に救助活動を行える体制を整えておくことにある。「自分たちの地域は自分たちで守る」という精

神にもとづく。

近隣市町の世帯数に対する自主防災組織の組織率を見ると、山形県の調べでは、今年九月三十日現在、長井市が六二・八割、白鷹町が七〇・二割、小国町は二四・七割となっている。それに対し本町は、三五・七割と長井市、白鷹町よりも遅れをとっているのが現状である。町では、地域単位での防災活動を重視し、自主防災組織づくりの支援事業を行っている。担当は、役場住民税務課生活環境室。設立に必要な費用の補助や備品の調達に関する相談にも応じている。この機会にぜひ地区で検討してほしい。



photograph

①地域住民による避難訓練。部落ごとにまとまり、避難所の第一小に徒歩で避難 ②石原部落自主防災会の女性たちによる炊き出し訓練。協力し合いおにぎり約100個を作った ③中ノ目南部落による初期消火訓練。薬剤と白煙が舞う ④町消防団第4分団による水防訓練。連携の取れた訓練を披露

総合防災訓練の経過 (主会場/第一小学校)

時刻	訓練内容	時刻	訓練内容
7:00	緊急招集訓練	8:30	自主防災訓練(炊き出し訓練)
7:20	消防訓練		自主防災活動訓練(救出救助・初期消火・応急手当訓練)
8:00	現地対策本部設置運営訓練 災害情報収集・伝達訓練	9:25	ライフライン応急訓練 (道路復旧・救出救助訓練)
8:05	被災地調査訓練	10:10	ライフライン応急訓練 (応急給水訓練)
8:20	広報活動・避難(救護)活動・ 避難所設置運営・応急手当・ 緊急物資輸送対策訓練	10:30	水防訓練
		10:50	

自主防災組織の結成状況 (平成21年10月末日現在)

組織名	結成年月日	構成部落	世帯数
中北特別消防		中北	39
西向予備消防団	1983/04/01	西向	43
昭和部落消防協力班	1996/04/01	昭和	38
東山自主防災会	2002/04/01	東山	51
松原自主防災会	2005/07/01	松原	64
手ノ子川東自主防災会	2006/04/16	向原・向原北・萩	80
中津川地区自主防災会	2007/03/20	地区内全部落	137
石原部落自主防災会	2007/04/01	石原	100
下町地区自主防災会	2007/04/09	下町	39
中ノ目南部落自主防災会	2008/03/25	中ノ目南	126
西高峰部落自主防災会	2009/04/01	西高峰	18
坪沼部落自主防災会	2009/04/01	坪沼	27
上代地区自主防災会	2009/08/01	上代	54
組織加入世帯数合計(a)			816
全町世帯数(b)			2,302
組織率…(a)÷(b)			35.4%

※世帯数は、平成21年10月末日現在

自主防災組織推進セミナー開催



11月19日(木) 18:30~20:00
町民総合センター「あ〜す」

講師 小千谷市自主防災組織連絡協議会長 風間久司氏

「今なぜ自主防災組織～中越大震災から学ぶ～」と題し、被災体験にもとづく自主防災組織の必要性を説きます。ぜひ皆さんの防災活動の参考にしてください。参加費無料。

◆問合せ先/役場住民税務課生活環境室/72-2111内線131

リーダー・インタビュー ①

自主防災組織

「自分たちの地域は自分たちで守る」。
総合防災訓練に参加した2つの自主
防災組織に活動内容などを聞いた



中ノ目南部落自主防災会
とし かず
部落長 高橋利一さん

中ノ目南部落自主防災会

設立/2008年4月 世帯数/126世帯(10月末日現在) うち高齢者のみ世帯/約12世帯(中ノ目南部落自主防災会調べ) 特徴/Aパートや集合住宅が多数存在している地域。大きな工場も存在する

町内一の世帯数。5班に分けて、
部落内の協力体制を明確化

自主防災会が設立される前の年、手作りの「防災広報」を十号にわたり全戸配布しました。目的は、住民の皆さんに自主防災組織の必要性を知ってもらうことでした。万が一、災害が発生した場合、防災体制が何もない状態であれば、みんなが右往左往することになります。「互いに困らないように助け合う体制を作ろう」ということで、地区の皆さんの賛同を得て設立することができました。私たちの部落は町内で最も世帯数が多いところです。そのため、避難・救助活動の体制として部落内を五班に分けました。災害時は、

班ごとに、各世帯の安全確認や避難救助活動などを共にするようにしました。それによって、地区内の助け合う協力体制を明確にしました。町の総合防災訓練に合わせて独自の訓練も実施しています。各家庭にはただ避難するのではなく、非常時に持ち出す物品の確認と、火の元栓を閉め、戸締りを確認することをお願いしました。さらに、町の指定避難所までの間は、一本のロープを班ごとに全員で握って歩いてもらいました。ささやかでも日ごろの訓練の積み重ねが、非常時に冷静な対応につながると思っています。

今でも地域に残る「防災道路」
災害の怖さを伝えながら活動を



石原部落自主防災会
こう いち
部落長 伊藤幸一さん

石原部落自主防災会

設立/2007年4月 世帯数/100世帯(10月末日現在) うち高齢者のみ世帯/約15世帯(石原部落自主防災会調べ) 特徴/比較的住宅が密集して建てられている地域。大きな工場も存在する

年一回、地区の全世帯を対象に公民館に集まって防災訓練を行っています。これまでに消防署飯豊分署の方から消火器やAED(自動体外式除細動器)の使い方を教わったほか、西置賜防災センター所長をお招きし講演会を開くなど、住民の防災意識の高揚に努めてきました。また、訓練終了後には、芋煮会で部落内の交流を深めるのが恒例となっています。救助活動に必要なヘルメットやリヤカー、発電機などの備品は、「玉くじ助成」で約百万円をかけて準備することができました。極力、自分たちの負担が少なく済んだこ

とは、組織の立ち上げに大きく役立ったのはもちろんのことです。地区内では三十五年ほど前、地元の工場から出火する大火災がありました。隣接する私の家まで火の粉が舞い、幸いにして燃え移りませんでした。とても怖い思いをしたのを今でもはっきり覚えています。その火災のあと、工場の東側には、消火活動を目的とする道路が、町によって整備されました。今でも私たちはその道路を「防災道路と呼んでいます。そのような体験や教訓を若い人たちに伝えながら、いつ起こるか分からない災害に備えたいと思っています。

災害時、より多くの救命には「自助・互助・公助」の連携が欠かせない。行政や消防の救助を待つだけでなく、自らが救助する立場へチェンジ

心肺蘇生法の会得 人命救助の分岐点

いいで応急手当普及員会

いいで応急手当普及員会

2002年7月設立／田辺隆会長／応急手当普及員有資格者31名で構成



いいで FIRST AID INSTRUCTORS



総合防災訓練で見事な応急手当訓練を披露する普及員

心肺蘇生法など 応急手当を学べる講習会

いいで応急手当普及員会では、自主防災組織はもちろん地区やサークルなど団体単位での救命講習会を行っています。AED(自動体外式除細動器)操作を含む心肺蘇生法などを学ぶことができます。年齢は問わず、講習時間は1～2時間程度。希望日の2週間前までに予約が必要です。

◆申込・問合せ先／消防署飯豊分署
☎72-2222

adviser's voice



救助も避難も複数で冷静に

消防署飯豊分署救命士

小関 新一 補佐

災害時はだれでも精神的に混乱するはず。救助や避難をすべて1人でしようとすると、冷静さを失い2次災害に巻き込まれる可能性が高くなります。近所の人たちと複数で話し合いながら行動することで、より善処な救助・避難ができるようになります。

防災用語に「自助・互助・公助」がある。自助は、自分の身を自分の力で守ること。互助は、住民同士で助け合うこと。公助は、行政など公の機関によって助けること。この三つの連携が、災害の被害を最小限に食い止めるとされている。そのうちの「互助」を考えたとき、災害時、自分が負傷者に対してできることは何か？ 救急車を呼べる余裕もない状況下では、近くの人の助けを借りながら自分の力で応急手当を施さなければならぬ。心肺蘇生法を会得しているか、

否かが人命を救う分岐点となる。「二人でも多くの町民の方が、心肺蘇生法を身につけてくれれば、自分も助けてもらえるし、家族も助けてもらえることになる。そこに『いいで応急手当普及員会』の根本的な考え方があります」いいで応急手当普及員会(以下、普及員会)の田辺隆会長(添川)はそのように語る。

応急手当のエキスパート集団

住民への普及活動に当たっている。全員が無報酬のボランティアだ。誤解していけないのは、彼らは救助隊員ではないこと。応急手当ができる人材を町内に一人でも多く育成することが任務なのだ。普及員会は、置賜農業高校飯豊分校生や町民プール監視員、学校の先生などに普通救命講習を行っているほか、町内のスポーツ大会では救護所で待機するなど、地域に密着し活躍している。普及員会は、災害や事故に対し、「互助の力」を発揮する町づくりを目指して立ち上がったエキスパート集団なのである。

飯豊町洪水ハザードマップ

防災に必要な町の情報がすべて掲載されています



飯豊町洪水ハザードマップ

昨年4月に全戸配布された「飯豊町洪水ハザードマップ」は、洪水だけでなく、すべての自然災害に対応できる防災マニュアルです。避難所の位置、非常時持出品リスト、災害用伝言ダイヤルまでと家族の防災会議に役立ちます。

◆問合せ先／役場地域整備課建設室

☎72-2111内線156



Tanabe Takashi

いいで応急手当普及員会
田辺 隆 会長

たなべ・たかし◎1960年9月、添川生まれ。自営業。25歳で飯豊町消防団入団。第3分団長、本部分団長などを経て、07年4月から副団長を務めている。二女の父。添川在住

最も知っておいてもらいたいことは、人は心臓が停止し、三分から四分以内に血液が脳に届かないと脳細胞が壊死し、脳障がいを引き起こしてしまつリスクがあるということです。

消防署飯豊分署の救急車は一台です。また、救急車が現場に到達する平均時間は六分から七分といわれています。その間の時間帯がいかに重要かがわかります。仮になんらかの救命処置で命が助かったとしても、脳に障がいが残ってしまえば、本人はもちろん、家族にも大きなダメージとなってしまいます。人工呼吸や胸骨圧迫（心臓マッサージ）といった一連の心肺蘇生法ができるか、できないかが、現場で大きな鍵となるのです。

今、町にはAED（自動体外

心肺蘇生法をマスターし、災害に強い町に

式除細動器）の整備が進められています。設置されたからもう安心」という話にはなりません。AEDを取りに行く時間や使用するタイミング、適切な操作など、考慮しマスターすべきことはたくさんあります。

私たち応急手当普及員は、少しでも多くの方にAEDを使った心肺蘇生法を覚えてもらえるよう、わかりやすく丁寧な指導を心がけています。人命に関わることなので、応急手当は敬遠しなくなる事柄かもしれません。一人ひとりが技術を身につけることで、はじめて災害に強い町になるのではないのでしょうか。

ぜひ親子で講習会に参加してもらい、子どもたちにも「人助けの心」を学んでもらえたらうれしく思います。

万が一、大地震が発生した場合、道路や橋が寸断され、遠隔の地域に救助に入るまで相当な障害があることが予想されます。さらに冬季であれば、雪と寒さが障害となり、被害の拡大はもちろん、救助活動も相当に支障をきたすと思われれます。

飯豊分署では、ポンプ車と救急車を五人の職員で運用しています。ひとつの災害現場しか対応できないこととなります。火災が広範囲に渡る場合は、すべての場所に同時に駆けつけることはできません。また、消防団員自身も被災することを想定しておかなければならず、消防力はおのずと低下してしまいます。その不足した力を、住民の皆さんの自主防災や応急手当によって、緊急救助隊が到着するまで、

地域の防災力を高めるのも大事な任務

補ってもらいたいのです。阪神淡路大震災では、救助された人の九五割が、家族や隣人によって救助されています。災害直後に助け合える人は、隣人以外にいないということです。

私たち消防署職員は、地域の皆さんの防災力を高めていくことも任務の一つだと考えています。被災地の人たちが話すのは「まさか自分たちが…」「まったく備えがなかった…」という言葉です。過去の教訓を無駄にせず、日々危機感をもって防災活動をしていきます。これからも職員一同、各種防災訓練の充実、自主防災組織や応急手当普及員との連携、住宅用火災報知機の普及など、地域の皆さんのご協力を得ながら「予防消防」を進めていきます。



Sato Toru

消防署飯豊分署
佐藤 享 分署長

さとう・とおる◎1950年10月、黒沢生まれ。73年に消防士となり、西置賜行政組合消防本部、小国分署、飯豊分署主幹などを経て今年4月から現職。趣味は読書。黒沢在住

公助の限界は、自助と互助が補うしかない。それぞれの立場で災害に立ち向かう救助活動のあり方を聞いた

リーダー・インタビュー ②
自助・互助・公助

すぐに役立つ 応急手当

日常生活でも役立つ応急手当をいいで応急手当普及員の井上弘子さんがレクチャー。いち早い対応で家族を守ろう！



手のひらを少し丸めるようにしてたたきます

気道異物の除去

※**傷病者に意識がある場合**
背部叩打法です。いすに座らせた状態で、傷病者の頭を下に向けます。
手の付け根で肩甲骨の間を力強く何度も連続してたたきます。

出血時の止血法

直接圧迫止血法です。きれいなガーゼやタオルなどを重ねて傷口に当て、その上を手で圧迫します。
病気などの感染防止のため、直接血液には触れないように、できるだけビニール袋などはめましょう。



傷病者の骨に押し当てるような気もちで圧迫します

adviser's voice

何度も受講して身につけて

いいで応急手当普及員

井上弘子さん

もし皆さんが傷病者に遭遇したら、勇気を持って声をかけてあげてください。手当をしている間は「しっかり！」などと声をかけ、安心感を与えてあげることも大切です。応急手当の技術は、何度も受講して体で覚えることで、いざというときに迅速な行動が可能になります。



いのうえ・ひろこ
会社員・飯豊町消防団本部部長。高峰在住



吐物による窒息を避けるため、必ずあごを上に向けます

回復体位

反応はないが正常な呼吸がある場合に救急車待つ体位です。下あごを前に出し、上側の手の甲に顔をのせます。さらに上側の膝を90度に曲げて、傷病者が倒れないようにします。

宇エツク！ AEDの設置場所

町では、安全・安心なまちづくりを目指し、AED（自動体外式除細動器）の整備を進めています。10月末日現在で、町が配置したAEDは右表のとおりです。どうぞ参考にしてください。

町で設置したAED

中部地区	中部地区 公民館	第一小		
白樺地区	白樺地区 公民館	飯豊中 スポーツセンター	第二小	役場
	健康福祉 センター	介護老人保健 施設「美の里」	なでしこ ハウス	
東部地区	東部地区 公民館	添川小		
西部地区	西部地区 公民館	手ノ子小		
中津川地区	中津川地区 公民館	中津川小中	白川荘	

※町内5つの保育園、幼稚園、児童センターには11月中に導入予定です。



中部地区公民館の正面玄関に設置されたAED（上）とAEDを使った救命処置の様子（下）



火災に強いまちを つくるために…

町では、地域の消防力を高めるための環境づくりを進めています。今年度は、消防ポンプ自動車2台の配備と耐震型防火水槽5基を整備します。

消防ポンプ自動車配備



導入予定の消防ポンプ車

消防団員の減少による消防力低下を補うため、機動力の高い消防ポンプ自動車2台を導入します。1台の車両で2本のホースが接続でき、双方向からの放水が可能になります。

車両は、第3分団第3部第1班（添川）と第4分団第1部第1班（手ノ子）に配備されます。

消防団員の減少による消防力低下を補うため、機動力の高い消防

耐震型防火水槽整備



地中に埋設される防火水槽

消火活動に欠かせない水を確保するため、耐震型防火水槽を整備します。貯水容量は40立法メートル。昨年度は4基を設置し、今年度は中北、深淵、上代、小白川、上原地区の5カ所に来年3月までに整備される予定です。



ひろ のぶ 後藤博信 副町長

11月1日付けで副町長に就任した
後藤博信副町長に心境などをインタビュー
後藤町長の熱意を受けて「にぎわい再現」を目指す



副町長に就任されての心境をお聞かせください。

後藤 役割に伴う責任の大きさを感じています。豊かな自然の中で希望に溢れ、だれもが住み続けたいと思える町でありたいと思っています。

副町長の職を引き受けた理由は何だったのでしょうか？

後藤 後藤町長から「ふるさとへの思いがあるならば一緒に町のことを考えてみないか」とお話をいただきました。その熱意に打たれ、自分が、町長の目指すまちづくりの実現に役立つことがあるならばと決意しました。

また、自分を育ててくれたのは、「ふるさと」にほかなりません。温かく見守り、支えてくれた近所の人たち、友人、先輩たちの存在が

あり、家の二階まで雪が積もる厳しい冬は心身を鍛えてくれました。あらゆる面でふるさとに感謝し、恩返ししたいという気持ちもありました。

どんな町にしたいという願いがありますか？

後藤 一人ひとりの立場、価値観が異なっているけれども、だれもが自分の夢や幸福に向かってチャレンジできる環境が大切だと思います。結果は必ずしも平等にはならないかもしれませんが、チャンスは常に平等にあるのが望ましいと思います。そこから活気と希望に溢れる町になると思うのです。

今の町の抱える課題は何だと認識していますか？

後藤 飯豊町のみならず全国的な課題と思われる人口減少、高齢化、雇用機会の減少などは「時間軸」を認識して対応しなければならぬテーマだと思っています。飯豊町固有の課題は、町の皆さんが日々の生活の中で認識していると思います。「課題はこれだ」と私が思い込むのではなく、今、何にお困りなのか、どんな行政の施策を求めたいらっしゃるのか、直接町の皆さんからお聞きして、汗を流したいと思います。

これまでのキャリアで得た経験や知識をどのように生かしたいと考えていますか？

町の皆さんと直接向き合い 課題の把握と問題の解決を

後藤 どんなビジネスでもお客様に満足してもらうことが第一です。行政も一緒だと考えます。町の皆さんが抱えている問題を現場で的確に把握し、解決に向けた行政サービスを提供する。経験や知識を生かすというよりも、真っ白な気持ちで町の皆さんと向き合う姿勢が大切だと考えています。

若者が定住するために必要な雇用の確保については、どのようにお考えですか？

後藤 企業誘致は、雇用創出の面で行政として大切な仕事の一つだと思います。本町には豊かな自然や温かい人柄など魅力的な資源がたくさんあります。それらを生かして、結果的に企業が「飯豊町にお願いしたい」「飯豊町でやりたい」と思ってもらえるような環境づくりが重要だと思います。一方、今のような不況下にあつては、飯豊町が自律することも同時に重要だと思います。町にあるものを生かす、町内で経済活動を循環させる方法の模索もしていきたいと思っています。

最後に今後の抱負をお聞かせください。

後藤 「滅私奉公」に尽きます。誠心誠意、職務にあたる決意です。後藤町長と共に、幸せが実感でき、将来性を体感できる町を目指して努力したいと思います。

Goto Hironobu



秋の催しを カメラが追う



autumn festival 2009

農産物と海産物を新鮮直売

「いいで秋の収穫祭」は、十一月三日、町民総合センター「あすす」で行われました。町内で生産された農産物や食品などを直売。みぞれの降る寒い天気でしたが、市価よりも安く買えることから多くのお客様が詰めかけにぎわいました。今年も本町の姉妹都市である千葉県南房総市の皆さんも出店してください、一回三百円の「さんまつかみ取り」は、周りに人だかりができる人気ぶりでした。

充実のプログラムと作品展示

町内各地区の文化祭は、公民館や小学校などを会場にして、十月二十四日から十一月一日にかけてそれぞれ行われました。芸能発表、もちつき大会、ウォークラリー、映画上映など幅広い年代が楽しめるプログラムが生まれ、どこも地区の人たちでにぎわっていました。さらに文化祭らしく、趣向と技巧を凝らした力作が会場いっぱい展示され、訪れる人たちの目を楽しませていました。

いいで秋の収穫祭

1 脂がのった旬のさんまつかみ取り。1回で20匹もつかんだ人も 2 置賜農業高校飯豊分校の生徒たちは、よさこいソーランの披露や町特産品を使った試食会を開くなど、地元校として収穫祭を大いに盛り上げてくれた 3 野菜、果物、乳製品、ジャム、花までとたくさんの品が並んだ直売所 4 にぎわい再現プロジェクト委員の皆さんがカフェを出店。無料で温かい飲み物をお客様に振る舞って体と心を温めるおもてなし



NO_3



NO_2



NO_1

地区文化祭から
出品作品を紹介

WORKS



白 樺 地 区



中 部 地 区

地 区 文 化 祭

5中部地区文化祭／来場者へのこもった抹茶のサービス。伝統文化に触れることも大切な「文化祭」の一面 6白樺地区文化祭／パネルいっぱい貼られた地区活動の記録。写真一つひとつにせりふや模様があしらわれ、見ていて楽しい 7東部地区文化祭／添川産のそば粉を使い、上代そばの会の皆さんが打った新そばを限定販売。おいしい笑顔が会場に溢れた 8西部地区文化祭／恒例のもちつき大会のひとつコマ。手ノ子小児童たちは、小学校で行われた学習発表会の大役を終え、もちをおいそうにほお張っていた 9中津川地区文化祭／総勢約120人で33m33cmにおよぶ太巻き作りに挑戦。みんなの心をつにして見事完成。もちろん味も最高！



東 部 地 区



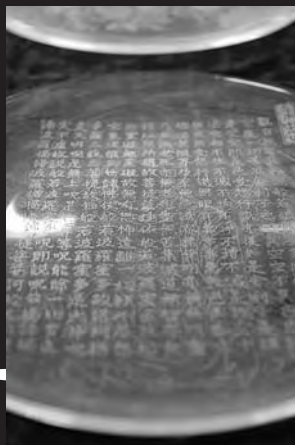
西 部 地 区

写真提供／伊藤和憲さん(宮倉)



中 津 川 地 区

- NO_1 中部地区 製作者／峯村洋子さん(黒沢)
生け花
- NO_2 白樺地区 製作者／北原辰夫さん(樺)
木製の羽黒山五重塔
- NO_3 東部地区 製作者／渡部九一さん(添川)
結束テープで編んだ「はげご」
- NO_4 西部地区 製作者／船山健信さん(手ノ子)
4種類の木で彫った器
- NO_5 中津川地区 製作者／船山莊三郎さん(下屋地)
般若心経を刻んだガラス皿



NO_5



NO_4

まちかどニュースは、皆さんの広場です。
地域のできごとやご意見などお気軽にお寄せください。
役場総務企画課総務情報室まで ☎72-2111内線224



コラール・ド・めざみ&ミルキーウェイジョイントコンサート

世代を超えた歌声が会場を魅了

10月4日、町民総合センター「あ〜す」で、コラール・ド・めざみ&少女少女合唱団「ミルキーウェイ」ジョイントコンサートが開かれました。両合唱団の世代を越えた歌声が会場を魅了。合唱のほかに伊藤照美さん（椿）のマリンバ独奏、伊藤信子さん（岩倉）の語り部、村田さち子先生の詩の朗読など多彩なプログラムがあり、会場に詰めかけたお客様は、それぞれに大きな拍手を送っていました。

米沢電気工事協同組合青年部活動

高齢者宅の電気保守安全点検



10月9日、米沢電気工事協同組合青年部（遠藤浩樹会長・長井市）が、町内の一人暮らしの高齢者宅9軒を対象に電気保守無償点検活動を行いました。これは、同組織が社会貢献活動として毎年、置賜3市5町で順番に実施しているものです。会員15名が参加し、民生委員の方に立ち会ってもらいながら、照明器具のランプ交換や清掃、配線の取り付け状態の点検などを無償で行いました。

「共存の森・全国セミナー」活動報告会

若者が中津川での体験を報告



10月10日から3日間、中津川地区で「共存の森・全国セミナー」がありました。NPO法人共存の森ネットワーク（東京都）が、里山の生活体験を目的に開催し、関東や関西などの都市に住む高校生・大学生約40名が参加しました。最終日には後藤町長や地元の人たちを招き、野外調査活動の結果を報告。「中津川地区は、森と共存しながら文化や産業などを発展させてきたことを感じました」などと発表がありました。



中部地区で防犯活動を強化

地域が一体となった見守りを

中部地区では、県内で子どもを狙った不審者の報告件数が増えていることを受けて、防犯活動を強化しています。10月14日には、中部地区の防犯協会、地域連絡員、ゆりネット、長井警察署など関係者約20名が集まり、児童の下校時間に合わせ、通学路の立哨やパトロールを行いました。パトロール車のアナウンスには、第一小の児童の声を採用するなど、子どもたちへの注意も喚起。参加者からは「地域の見守りが今後も大切だと思います」との話がありました。

添川児童センター里芋掘り体験

芋煮会の芋は本当はこんな姿



10月14日、遠藤嘉昭さん（添川）は、自らが栽培する里芋畑に添川児童センターの園児21名を招待しました。子どもたちは、軍手をはめて、里芋掘りに挑戦。背丈以上もある茎の刈り取りや芋に付いている根を取る作業などを体験しました。掘った里芋は、そのまま園児へプレゼント。「里芋の本来の姿を知ってもらい、地元での楽しい思い出づくりになれば嬉しいです」と遠藤さんは目を細めて話してくださいました。

緑のふるさと公社、地元小中学生を食事に招待

地元の味を舌と心に



10月20日、緑のふるさと公社が、中津川小中の児童生徒16名を、ホテル「フォレストいいで」の昼食に招待しました。地元の食材の豊かさを通し、改めて地域の素晴らしさを実感してもらうことが目的です。メニューは、「宇津沢かぼちゃ」を使ったスープや旬のきのこのリゾットなど5品目。子どもたちは、身近な食材がシェフの腕にかかることと驚きながらも、料理をおいしそうに平らげていました。



米沢牛産地交流会in飯豊
(いいで旅館)



飯豊町芸能発表会
(あ〜す)



高齢者体育レクリエーション大会
(白樺地区公民館)

直伝おふくろの味



ふるさとの山と川の恵を素朴に味わう 簡単ヤマメの田楽

【材料】（4人分）

◇ ヤマメ	4匹
◇ 味噌	50 ^g _g
◇ 山椒	小さじ1杯
◇ 砂糖	小さじ1杯

【作り方】

- ① 味噌、山椒、砂糖を混ぜ合わせる
- ② ヤマメははらわたを取り除き、素焼きにする
- ③ ②の両面に①を塗り、さらに焦げ目がつくまで焼いて、出来上がり

山椒を合えた味噌は、どんな焼き魚にもぴったりです

義理の祖母から教わった手軽な郷土料理です。川魚の苦手な方も、香ばしい味噌の風味でおいしく食べられると思います。

ヤマメと山椒は、地元で採れたものです。山椒は、この辺では昔からお腹の虫を駆除する効果がある言われるなど、重宝されてきた葉味です。我が家では、山や畑に生えている山椒の葉を摘み、一日干してからミキサーで粉にして、さまざまな料理に使っています。辛味が程よく、とても良い香りがし、食欲をそそります。

山椒を合えたこの味噌は、ヤマメだけでなく、どんな焼き魚にも合いますし、ご飯や豆腐にかけてもおいしいです。

料理のポイントとしては、味噌を塗ってから焼くときは、焦げすぎないように気をつけてください。



中津川地区
食生活改善推進員
鈴木芳子さん



こどもみらい館の予定表 (11月・12月の日程)

11月17日(火) 10:30~	おはなし広場
19日(木) 10:30~	救急講習会
26日(木) 10:30~	かんがるー広場
12月1日(火) 10:30~	あそびの広場
5日(土) 10:30~	ブックスタート広場
9日(水) 10:30~	おはなし広場

＋救急講習会／講師 消防署飯豊分署職員

11月19日(木) 10時30分～
こどもみらい館

「子どもが異物を飲んだらどうしたらいいの?」。子どもの事故を未然に防ぐ危険予測や救急時の対応などを学びます。

episode

大切にしたい子育ての信条 「信念のあるしつけ」

子育て応援
談
kosodate
ouendan

家族で楽しく過ごしたキャンプの帰り道、ひよんなことから、幼い弟はパンツを濡らし汚してしまった。私たちの言いつけにもかかわらず、彼は替えのパンツを準備していなかった。苦肉の策に弟は「姉ちゃん貸してよ」と願う。「やだ! 何であたしのパンツ貸さんなねなや」と姉は一切あしらわない。ここで親が介入する。「貸してあげたら?」「いやだ!」と強情を張る姉。そんな子では困るので、姉には車からしばし降りてもらおう。親が厳しい態度で頑張っていると、弟が「お父さん、もうやめて、お姉ちゃんかわいそうだよ」と涙を流して訴えてきた。姉もか細く反省の弁を語る。

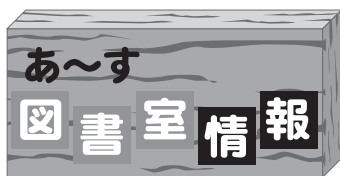
好きで怒る親はいない。どこまで強い態度を示すべきか迷うことの方が多い。しかし「だめなものだめ」と、信念を持って教えたかったのだ。

●役場教育文化課子育て支援室

☎72-2111内線160、163

●こどもみらい館

☎72-3336



今月のおすすめ図書

児童図書

「みみかきめいじん」

かがくいひろし／作
講談社

みみかき名人のひょ・うーたん先生と、弟子のひょうすけが、「みみかき草」を手に、次々にやってくるお客さんを相手に大奮闘。さて、今日のお客さんは…? 独特のセンスあふれる、ユニークなおはなし。

児童図書

「つるばら村の大工さん」

茂市久美子／作 柿田ゆかり／絵
講談社

つるばら村の大工・勇一さんのとこへ舞い込む不思議な注文。始まりは、月見が原の小屋の修理でした…。季節の輝きに満ちた、やさしいファンタジー。

一般図書

「江戸の隠密・御庭番」

清水昇／著 河出書房新社

江戸幕府は諸藩の実態を調査すべく、さかんに間諜を使った。隠密同心、監察役配下の公儀隠密、吉宗以降の御庭番、対抗する諸藩の隠密…。赤穂事件から新選組までの歴史的事件に関わった50余人の実際を描く。

一般図書

「外事警察」

麻生幾／著 日本放送出版協会

奴らにすべてをほんろうし尽くされた。日本という国家までも…。テロリストと闘う「外事警察(ソトゴト)」と呼ばれる者たち。テロ対策をテーマに、彼らの活躍と日本の危機管理のあり方を問う長篇。

●開館時間

午前9時～午後5時

●休館日

毎週月曜日・祝日・年末年始

●問合せ先

町民総合センターあ～す図書室 ☎72-3111

ルーエッセー 校長室便り

「ゆりの『幸せ配達人』活動から」

第一小学校 大道寺高明 校長

Profile

だいどうじ・たかあき
1951年1月、長井市生まれ。荒砥小、手ノ子小学校などを経て08年4月より当校に着任。趣味は、彦一丸（たこ）づくり。これまで50枚以上製作。教育者としてのモットーは「子どもの良いところを見つけ、自信を持たせ、伸ばしてあげること」。長井市在住



「気をつけて行つてらっしゃい」と担任に励まされ、前かごにゆりの花束を載せた自転車隊は、校区のあらゆる方向に出發した。

学校に「ハッピーゆり園」ができて以来、見事に咲き誇っているゆりの花を四、五本程度の花束にし、手書きのメッセージと共に届ける姿がある。校区の一人暮らしの老人宅のほかに、学校で日ごろからお世話になっている施設やお店に五・六年生が届けるゆりの「幸せ配達人」活動の風景である。

今年度は七十件ほどの配達を計画した子どもたちが、二十三の班に分かれて実施した。直に地域の方々と触れ合い子どもたちへのねぎらいや感謝の言葉をお聞きし、期待されている自分たちや自分たちの活動に自信と誇りを感じ



地域の方々との交流を育む「幸せ配達人」活動

は帰ってくることもできる掛け替えのない郷土を思い、地域の人の温かさや思いをしつかりと感じ取ることで、できる活動を大切にしていきたい。

ずることのできる瞬間でもある。

その中の一つに東京都の方からの手紙があった。たまたま母の手術を控えて帰省していたとき、活動に出会い「一人暮らしの母の周りにこんな子どもたちがいて、素晴らしい故郷があることを幸せに思う」との内容の手紙であった。学校では学習内容や時数が増えて子どもたちと関わり合う時間の減少に心を痛める毎日である。離れてもいつかは帰ってくることもできる掛け替えのない郷土を思い、地域の人の温かさや思いをしつかりと感じ取ることで、できる活動を大切にしていきたい。

「散居村の謎」

連載

町長の見歩き⑧

後藤 幸平

旅は発見である。大航海時代の新大陸発見は、ヨーロッパから東アジアへ活路を求めた海外探検の歴史のページだ。そんな大袈裟な歴史物絵巻を思い起こさせるほどの旅を私も三日間経験した。

十月七日から九日までの三日間、「第九回全国散居村サミット」が島根県斐川町で開催され飯豊町から長沼桂子副議長、後藤洋総合政策室長と共に参加することになった。何と十月上旬の三日間だ。この時期がいかに特別な時であることか。米どころでは最も多忙を極める穫り入れの時期であり、分刻みの毎日職場を一日たりとも離れることはこれまで無かったからである。

空飛ぶ飛行機は墜落するかもしれないという強迫観念は、横山秀夫著『クライマーズハイ』を読んで以来頭から離れず、遠い出雲の国まで列車を乗り継いで旅するわがままを許していたから、私にとってはまさに大航海並みの長旅となった。赤湯駅から岡山駅までの行程は想

定内の風景である。しかし、岡山駅から出雲市駅までの伯備線沿線、中国山地縦断の車窓の眺めは、生れて初めて体験する感動の風景だ。列車は急峻な山々の間を縫うように走る。時折眼前に現れる集落は、柵田の中腹にあり、畦畔は石垣で出来ている。住み慣れたわがふるさとの里山散居村風景とはあまりに対照的な姿を垣間見て、列車の旅の選択が正解だったことを実感した。そんなことからサミットでは「散居村の謎」について力説することになる。

そもそも散居村はどうしてできたのか。田んぼと暮らしが一体だったこと、水の確保に苦心したこと、外敵がいけない平和な村であったこと、もともと農民は対平等であったこと、散居は理想の土地利用、などと、山間の柵田の村や平野の集村とは明らかに異なる何かがある集落形成に隠されているのではないか。

島根県斐川町への行程は、新大陸発見ならぬ「散居の謎」発見の旅となったのである。

NPO法人「日本で最も美しい村」連合定期総会

肘折温泉街に掲げられた総会の横断幕



NPO法人「日本で最も美しい村」連合©2005年10月に設立された特定非営利活動法人。村の景観や文化の保全によりブランド力を高め、地域経済の活性化などを目的とする。北海道美瑛町や岐阜県白川村など33町村・地域のほか賛同する法人・個人も参加。飯豊町は、08年10月から加盟している

定期総会を大蔵村で開催—新たに15村が加盟—

10月6日、大蔵村を会場に、NPO法人「日本で最も美しい村」連合定期総会が開かれました。町からは、町長代理として嘉藤輝雄総務企画課長が出席したほか、研修を目的に「にぎわい再現プロジェクト委員会」の伊藤志津可さん(椿)と梅津優子さん(手ノ子)が参加。総会では、ブランド戦略のもと、地域の魅力を全国に発信し、地域経済の活性化を目指して取り組んだ事業などが報告されました。さらに長野県小川村や島根県海士町など新たに15町村・地域の加盟を承認。組織力が強化され、一層のブランド価値の向上が期待されます。

町は、これからも連合の事業と連携をとりながら、飯豊の美しい景観と里山文化を将来にわたり磨きをかけていきます。



写真 / 椿・辻地内

報 告

■「日本で最も美しい村」連合
■全国散居村サミット

美しい日本の村
未来へ継承の契り

サミット会場での意見交換の様子



全国散居村サミット©散居村の特性を生かしたまちづくりと共通の課題解決に向けた情報交換・交流連携を目的とする。全国散居村連絡協議会に加盟する砺波市(富山県)、高岡市(同)、入善町(同)、奥州市(岩手県)、飯豊町、斐川町(島根県)が出席。サミットは2年に1回開催

散居村の文化的価値を全国へ発信することを確認

10月8日と9日、島根県斐川町で「全国散居村サミット」が開かれました。全国から散居村を持つ6自治体が参加。本町からは後藤幸平町長と長沼桂子町議会副議長が出席しました。

サミットでは「散居村を守るためには農業の再生が必要不可欠であり、地域コミュニティが元気であることが重要」などの意見が出されました。後藤町長からは「まちづくりには若者の参加が大切」とし、「にぎわい再現」への取り組みなどを報告しました。意見交換後、散居景観の保全や文化的価値の情報発信、参加自治体間の交流と連携などをうたった共同宣言を確認。

サミットでは、そのほか斐川町内の現地視察や記念講演などが行われ、自治体間の親交を深めました。

全国散居村連絡協議会「全国散居村サミット」



(敬称略)

- ◆統計調査永年協力農林水産大臣
感謝状(協力期間5年以上10年
未満)/山口正春(高峰)
- ◆西置賜地区読書感想文コンクール
◇入選/渡邊凌太郎(第一小)、山
口万輝(同)、加藤早紀(同)五
十嵐柚衣(第二小)、梅津優香
(手ノ子小)、齋藤麻衣(同)
- ◆山形県緑化運動育樹運動標語及
びポスター原画コンクール
◇標語・入選/村井駿斗(添川小)
- ◆長井地区防犯協会連合会防犯作
品コンクール
◇標語・佳作/
渡部倅大(手ノ子小)
- ◆西置賜地区防火ポスター
◇優秀/長岡いずみ(第一小)
◇佳作/小浦翼(第一小)
◇入選/佐藤史都(第一小)、古川
学之(同)、加藤知(同)、鈴木光
(手ノ子小)、渡部倅大(同)、太
田渉(添川小)、田辺渚(同)
- ◆秋桜杯パークゴルフ交流大会
◇男子/③五十嵐健一(小白川)
◇女子/①二瓶ちよ(小白川)
- ◆町総合体育大会
【ゲートボール大会】
◇団体/①東部②小白川③高峰
◇最優秀選手/
小笠原源之助(東部)
◇優秀選手/鈴木金美(小白川)
【グラウンド・ゴルフ大会】
◇男子団体/①東部①中③手ノ子
◇女子団体/①小白川②椿③萩生
◇最優秀選手/横沢市郎(東部)、
佐藤陽子(小白川)
◇優秀選手/長岡秀雄(中)、後藤
とみ子(椿)
◇男子個人/①横沢市郎②長岡秀
雄③中村喜重
◇女子個人/①後藤とみ子②渡部
きよ③佐藤良子

【パークゴルフ大会】

- ◇男子/①井上克夫②嘉藤直昭③
飯沢功明
- ◇女子/①二瓶ちよ②上田輝子③
渡部きよ

◆駅伝競走大会

- ◇小学生男子/①鈴木大地・鈴木
春記・鈴木涼志チーム
- ◇小学生女子/①今野瑞帆・小川
さおり・土屋美久チーム
- ◇中学生以上男子/①齋藤涼太・
梅津昌樹・嘉藤貴央チーム
- ◇中学生以上女子/①横澤汐音・
松村知実・八島奈緒チーム
- ◇マラソン男子/①渡部将吾
- ◇マラソン女子/①石原花凜

◆町長杯グラウンド・ゴルフ大会

- ◇男子/①横沢市郎②橋本清③井
上克夫
- ◇女子/①佐野陽子②小松輝子③
高橋芳子

◆置賜地区小学生バレーボール親
善交流大会

- ◇6年女子の部優勝/白椿バレー
ボールスポーツ少年団
- ◇5年女子の部優勝/白椿バレー
ボールスポーツ少年団

◆西置賜地区縦断駅伝競走大会

- ◇総合3位/飯豊町
選手は区間順に、小川さおり、
齋藤綾、鈴木春記、伊藤敏昭、寒
河江宏、菅野邦彰、山口廣紀、舩
山信一郎、鈴木美稀、土屋達也

◆西置賜地区秋季交流大会

- ◇優勝/白椿ソフトボールスポー
ツ少年団



10月10日、白鷹町で行われた西置賜地区
秋季交流大会で優勝を果たし、喜ぶ白椿ソ
フトボールスポーツ少年団メンバー

追悼



元町長 渡部孝吉さんが死去

リーダーシップを持って 町の発展に全力を尽くす

飯豊町長、町議会議長などを歴任さ
れた渡部孝吉さん(中)が、十一月三
日午後六時八分に、肺気腫のため公立
置賜総合病院で亡くなりました。八十
五歳でした。

渡部さんは、昭和三十四年に町議会
議員となり、昭和五十九年まで連続七
回当選。その間、産建常任委員長、副
議長、議長を歴任しました。さらに昭
和五十九年から四期十六年間に、町長を

務められ、住民の幸福を追求し、持ち
前のリーダーシップで町の発展に全力
を注がれました。引退後の平成十三年
にはその功績が認められ、勳四等旭日
小綬章を受章。

葬儀は十一月九日、町民総合セン
ター「あす」で行われました。後藤
町長をはじめ町内外から多くの方が参
列し、渡部さんの業績と人柄をしのび
ながら冥福を祈りました。

町税「滞納の整理」について

町では、法令を守り、納税義務の平等性を確保するため、滞納があるときは公正な姿勢で滞納処分を実施します。

役場住民税務課納税支援室 ☎72-2111 内線125・126

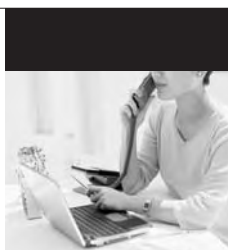
滞納が招く行政サービスの低下を懸念

福 祉、教育、公共工事など皆さんの生活にかかわるさまざまな行政サービスは、税金でまかなわれています。住民の皆さんに確実に税金を納めていただくことで、安心して暮らせるまちづくりが可能となります。納める税額は、所得や財産に応じて平等な義務として課税されています。

しかし昨今、納税が遅れがちな方が見受けられます。一部の滞納者が原因となり、税収が落ち込み、たとえば国保税などの税率が引き上がったたり、行政サービスが低下したりすることが懸念されます。このことを十分ご理解の上、納期限内の納税について引き続きご協力をお願いします。

納税相談

町では納税相談を常時受け付けています。病気や災害そのほか特別な事情で納税が困難な場合は気軽にご相談ください。「分割納付」「自主的な財産処分」「多重債務の整理」などさまざまな対応を検討し、総合的な支援と指導に努めます。なお、お聞きした情報は外部に漏らすことは一切ありません。



役場住民税務課
納税支援室
☎72-2111
内線125・126

「滞納処分」で公正な納税を

督 促状を発送した日から10日を経過した日までで納されない場合には、財産の差し押さえをしなければならないと法律で定められています。「滞納処分」とは滞納を解消するための一連の手続きのことをいい、「差し押さえ」を含む強制的な執行も含まれます。

①財産調査

滞納が発生した場合、財産調査を行います。滞納者の現在の状況を把握するもので、預貯金や不動産を中心に行われます。調査の結果、能力があるにもかかわらず納税していない方については、強制的な差し押さえが実施され、納税能力がないと判断された方については、執行停止の処分となり納税は保留されます。

②差し押さえ

財産調査の結果、納税する能力があるにもかかわらず納税しない滞納者に対して預貯金や不動産などの差し押さえを実施します。ただし、滞納者の最低限の生活の維持に配慮したかたちで行われます。差し押さえた預貯金などの財産は、町税に充当されることになります。



安心して暮らせるまちづくりのために

飯豊町役場
電話 0238-72-2111
FAX 72-3827
ホームページ www.town.iide.yamagata.jp
Eメール iide-info@town.iide.yamagata.jp



「あ～す」	☎72-3111	社会福祉協議会	☎72-3353	東部地区公民館	☎74-2447
町健康福祉課	☎86-2233	ひめさゆり荘	☎74-2011	西部地区公民館	☎75-2111
介護老人保健施設	☎86-2117	スポーツセンター	☎72-3086	中津川地区公民館	☎77-2020
国民健康保険診療所	☎72-2300	中部地区公民館	☎72-2126	飯豊駐在所	☎72-2245
附属中津川診療所	☎77-2330	白樺地区公民館	☎72-2242	中津川駐在所	☎77-2110

食の安心・安全講演会

- ◆日時/12月3日(木) 13:30～
- ◆場所/中部地区公民館
- ◆内容/講演「体に良い食べ物の話」
NPO法人食育ママ 加藤弥栄子理事
- ◆参加費/無料
- ◆定員/先着150名
- ◆申込・問合せ先/住民税務課生活環境室 ☎72-2111内線133または町健康福祉課健康医療室 ☎86-2338

2010年度版県民手帳などの販売について

町では、2010年度版の「やまがた県民手帳」などを販売しています。お求めになりたい方は、下記までお問い合わせください。

- ◆品名・価格
- やまがた県民手帳/600円
- 農業日誌/1,400円
- ファミリー日誌/1,400円
- 新農家暦/490円
- ◆販売期間/12月18日(金)まで
- ◆申込・問合せ先/役場総務企画課総務情報室 ☎72-2111内線225

米沢養護学校

「よねようまつり」のご案内

米沢養護学校では、文化祭「よねようまつり」を開催します。児童・生徒の作品などぜひご覧ください。

- ◆日時/11月21日(土) 9:30～12:15
- ◆場所/県立米沢養護学校(米沢市)
- ◆内容/○中学部、高等部、訪問教育、やまなみ学園分教室の作業学習で作った製品販売 ○小学部児童の活動にかかわる展示など
- ◆問合せ先/米沢養護学校 ☎0238-38-6101

銃器犯罪のない 安全な社会を築くために

警察では、けん銃摘発に至った情報提供に対して、報奨金のお支払いをする「けん銃110番奨励制度」を実施しています。実名・匿名を問わず、あなたの情報によりけん銃などの銃器が押収され、かつ犯人が検挙されたときは、けん銃などの銃器1丁につき、10万円を目安として報奨金が支払われます。

- ◆通報先/☎0120-10-3774 通話料無料

山形県最低賃金について

山形県の最低賃金は1時間631円です。この最低賃金は、10月18日から効力を発生し、県内で働くすべての労働者に適用されています。

- ◆問合せ先/山形労働局労働基準部賃金室 ☎023-624-8224

労働時間無料相談ダイヤル

過重労働による健康障害の防止や賃金不払い残業の解消には、時間外労働に対する適切な対処が必要です。11月の「労働時間適正化キャンペーン」に合わせて、無料相談ダイヤルを開設します。お気軽にご相談ください。

- ◆日時/11月21日(土) 9:00～17:00
- ◆相談先/☎0120-794-713 通話料無料

野川水系の一部で 川の水が止まります

試験的に長井ダムの貯水を行います。その間、ダムから野川水系への放流が止まります。防火活動に支障が出ますので、火の元には十分ご注意ください。

- ◆対象/野川水系(中、萩生の一部)
- ◆期間/11月30日(月)の1日程度
- ◆問合せ先/野川土地改良区 ☎84-1294

西置賜地区高校教育の在り方について地域説明会開催

これまで検討を重ねてきました西置賜地区の県立高校再編整備について「中間まとめ」を報告します。

- ◆日時/11月25日(水) 19:00～20:30
- ◆場所/町民総合センター「あ～す」
- ◆内容/「中間まとめ」の概要説明など
- ◆参加方法/直接会場にお越しください
- ◆その他/託児サービス(無料)を実施します。詳細は下記のホームページをご覧ください

- ◆問合せ先/県教育庁高校教育課高校改革推進室 ☎023-630-3067
<http://www.pref.yamagata.jp/ou/kyoiku/700013/>

地元県議会議員による 地域議員協議会のご案内

県議会では、地元議員による地域の課題や施策について審議を行う地域議員協議会を開催します。

- ◆日時/11月17日(火) 13:00～
- ◆場所/置賜総合支庁講堂(米沢市)
- ◆参加方法/直接会場にお越しください
- ◆問合せ先/県議会議務局政策調査室 ☎023-630-2846

町で使用しなくなった 公用車を払い下げします

- ◆車種/トヨタハイエース車椅子仕様車
- ◆初年度登録/平成12年5月
- ◆走行距離/約187,000km
- ◆申込締切/11月20日(金)まで
- ◆申込方法/指定の申込書で申し込み
- ◆その他/希望者が複数の場合は、入札となります。譲渡に必要な経費は、すべて譲受人の負担となります
- ◆申込・問合せ先/町介護老人保健施設「美の里」 ☎86-2117

こせきのほど
戸籍の窓

(10月届け出分)

ご結婚おめでとうございます

住所	氏名
(米沢市 高田大介さん 添川草刈祐子さん)	
(手ノ子中澤貞範さん 川西町高田直美さん)	
(椿市伊藤巧さん 南陽市山口久美子さん)	

お誕生おめでとうございます

住所	氏名	ご両親
黒沢手塚元稀くん	一重 亜都美	
萩生朝倉心ちゃん	達夫 あつみ	
松原尾形実莉ちゃん	隆子 紀子	
高峰伊藤夢唯ちゃん	智皓 あけみ	

心からおくやみ申し上げます

住所	氏名	年齢
小白川中郷山口きよさん		89
黒沢深淵佐藤忠一さん		65
添川(めさゆ)渡部ちうさん		86
黒沢(めさゆ)井上きぬさん		88
添川大旦田辺ゑつさん		93
添川(めさゆ)東山高橋はつゑさん		99
萩生石原後藤吉藏さん		85
添川(めさゆ)黒澤みよさん		91
添川(めさゆ)佐藤喜美子さん		83

※この欄に掲載を望まない場合は届出の際にお申し出てください。

人の動き

		10月分 () 内は対前月比		
世帯数	2,400 (-3)	転入	11	
人口	男	4,049 (-3)	転出	16
	女	4,295 (-6)	出生	5
計	8,344 (-9)	死亡	9	

池辺晋一郎作曲
オペラ「小鶴」上演のご案内

本町の合唱組曲「飯豊山」を作曲した池辺晋一郎先生の作品、オペラ「小鶴」が上演されます。ぜひお見逃しなく。

- ◆日時/11月29日(日) 開演15:00
- ◆会場/長井市民文化会館
- ◆前売券/一般1,500円(当日1,700円)
高校生以下800円(当日1,000円)
- ◆販売・問合せ先/町民総合センター「あ〜す」 ☎72-3111

「国の教育ローン」のご案内

高校、大学など入学時・在学中の費用を対象とした公的な融資制度です。お気軽にご相談ください。

- ◆融資額 学生・生徒1人あたり300万円以内
- ◆利率/年2.5% (10月15日現在)
- ◆対象となる学校 高校、短大、大学、専修学校、各種学校、外国の高校など
- ◆返済期間/15年以内
※交通遺児家庭または母子家庭の方については18年以内
- ◆用途/入学金、授業料、教科書代、アパート・マンションの敷金・家賃など
- ◆返済方法/毎月元利均等返済
※ボーナス時増額返済も可能
- ◆保証/助教育資金融資保証基金
※連帯保証人による保証も可能
- ◆申込・問合せ先/日本政策金融公庫 米沢支店 ☎0238-21-5711
「国の教育ローン」コールセンター ☎0570-008656

モンテ絆リボンプロジェクト

- ①モンテ絆リボンを無料配布します
モンテディオ山形のJ1残留への願いを込めて、手首にリボンを結びスタジアムで応援しよう。リボンは、役場教育文化課生涯学習室で無料配布しています。
- ②モンテ絆応援チケット事前販売
◆券種/バックスタンド南席
◆価格/2,200円(当日券の30%引き)
小中高生は無料(数量限定)
◆対象試合とチケット販売期間
◇11月21日(土)大宮アルディージャ戦
チケット販売期間/11月13日(金)まで
◇12月5日(土)横浜F・マリノス戦
チケット販売期間/11月30日(月)まで
◆販売窓口/役場教育文化課生涯学習室
◆販売時間/平日9:00~17:00
◆問合せ先/役場教育文化課生涯学習振興室 ☎72-2111内線162、160

公立置賜総合病院
相談支援センターのご案内

- がんを含めた病気や診療に関する相談をお受けする「相談支援センター」を設置しています。どうぞ利用ください。
- ◆相談受付方法
①予約制ですので、事前に下記までご連絡ください
②院内の総合案内か新患受付で申込書を記入し、申しつけください
 - ◆受付時間/平日9:00~16:00
 - ◆相談時間/約30分
 - ◆相談料/無料
 - ◆その他/相談内容の秘密厳守
 - ◆申込・問合せ先/公立置賜総合病院 医療連携室 ☎0238-46-5000(内線1902)

◇インタビュー終了後、いいで応急手当普及委員会の田辺隆会長から「今の救命処置は、一昔前と違って、脈拍をとったりする余計な手間は一切ない。一刻も早く脳に血液を送ることが優先されている」との話が聞きました。応急手当の方法は日進月歩とも。応急手当でに対する無知と誤解が、万が一のとき家族の命と脳に大きなダメージを与えることになることとすれば、その会得がいかに大切かを実感しました。▽弊紙「広報いいで」が、テレビで紹介される機会に恵まれました。十一月十七日(火)午後六時十七分、山形テレビでの放送予定です。(横山)



日本風景街道

宇津峠を歩く

私は、うれしい日光を
浴びている山頂から、
米沢の気高い平野を
見下ろすことができ、
嬉しかった。

英国女性旅行家

イザベラ・バード

(平凡社ラブラリー「日本奥地紀行」から転載)



十一月一日、手ノ子地区では今年で六回目となる「宇津峠歩こう会」が開かれた。参加者は約百名。子どもから高齢者までと年代は幅広い。町内はもちろん、遠方では東京都からのお客様も参加していた。このイベントを企画し、準備を進めてきたのは、手ノ子地区協議会宇津峠部会(高橋純部会長)。平成十五年に設立され、地域の歴史と文化の遺産である宇津峠を守り、そして峠を生かした地域の活性化を目指している。

宇津峠を含む越後米沢街道(十三峠)は、今年三月に東北風景街道協議会から「日本風景街道」に登録された。明治十一年に通過したイザベラ・バードが称えたその美しい景観と歴史的・文化的価値が、今、あらためて見直されている。「特に宇津峠は石碑や史跡が多く残っている峠です」と高橋部会長は胸を張る。

「歩こう会」に向け、役員の方たちは、開催前に集まり、遊歩道の往復約5^{キロ}の草刈と側溝の泥上げなどを行った。参加者に安全に、そして気持ちよく歩いて欲しいという願いを込めての作業だった。スタート地点の落合地藏尊で一

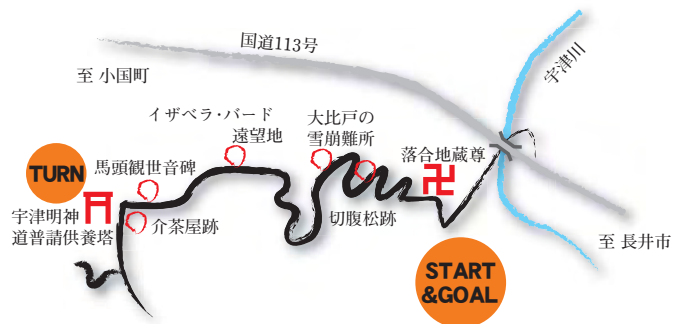
宇津峠歩こう会コース

宇津峠

うつとうげ◎置賜地域と新潟県下越地域を結ぶ越後米沢街道(十三峠)の1つ。十三峠の中で最も難所とされ、人力による背負子(しょいこ)が活躍した。切腹松跡、馬頭観世音碑、介(たすけ)茶屋跡、道普請供養塔など史跡が数多く残っているのも特徴



明治27年の宇津峠九十九折道(つづらおりどう)



Photograph

① 辺りの風景を楽しむ参加者。「イザベラの道」の標識から向こうは、大久保峠や黒沢峠などを越え、小国町へと道は続く ② 出発前、スタート地点の落合地藏尊に手をあわせる参加者。 ③ 「イザベラ・バード遠望地」で景色を楽しみながらしばし休憩。置賜盆地を見渡す眺めは絶景 ④ 諏訪神社大明神が祭られていた場所には、今も道普請供養塔などが現存する。「歩こう会」の発展と行程の安全を願い、参加者全員で祈祷した。コースはここで繰り返す ⑤ きれいな空気と枯葉のじゅうたんが心地よく、歩きやすい。だれ一人リタイヤせずに参加者全員が約5kmのコースを歩ききった



Interview

歴史の“歩み”を感じて欲しい

手ノ子地区協議会
宇津峠部会長

高橋純さん



手ノ子は宿場町として栄えたところですが、国道が整備されてからは、年々その面影を感じる事が難しくなっています。町の皆さんにも宇津峠を歩いてもらい、史跡を訪ね、歴史の歩みを感じ、自分たちのルーツに思いを馳せてもらえれば本懐です。

人ひとりが手をあわせ、無事故を祈る。そして峠を登り始める。かつて先人たちがそうしたように。コースは至って歩きやすく、ロープをつかんで歩く急な場所は一カ所だけ。全体的なアップダウンはなだらかで、子どもたちは最後まで元氣いっぱい。大人は風景と会話を楽しんで歩く余裕がある。振り返れば、先人たちにとって山道を切り開くことや冬の峠越えは、命がけのことだった。道普請供養塔、大比戸の雪崩難所などがそれらを物語る。宇津峠を歩いていると、イザベラ・バードの時代へタイムスリップしたかのように感じる時がある。「歩こう会」には、山道を楽しむほかにも、郷愁の念に駆られる魅力も潜んでいた。

中津川早春

(撮影場所／中津川地内)



【特別賞作品】

写真は、平成20年度に開催されました「未来につなぐいいでフォトコンテスト」で入賞された作品です。

撮影者

阪野吉平さん (川西町)

カメラを持って中津川に通い始めてから早くも20年近くになります。以前は人物のポートレートを主体に撮影していましたが、このごろは歳のせいか草木花などにカメラが向くようになりました。今回、その花で受賞できて喜んでいます。

写真家 佐藤秀明先生の講評

春を待ちわびる人々の思いを見透かしたように花開く福寿草。うれしい季節の温かい光景です。作者もそんな思いで撮られたのでしょう。ただし、縦位置写真なので遠景の子どもが生きてきません。画面を半分は切って上を少し切り詰めた横位置写真にすると子どもがいぎきして、春の喜びがさらに伝わってきます。子どもをとるか、情緒をとるかですね。

